

選択的介護モデル事業について

1. 選択的介護モデル事業実施の経緯について

一定のルールの下で介護保険サービスと保険外サービスを組み合わせて提供することを可能にすることで、介護事業者が創意工夫できる幅を広げることにより、利用者の利便性向上や家族介護者の負担軽減、さらに介護事業者の収益性の確保により処遇改善をめざすために、東京都と連携して行っている実証実験事業である。

【モデル事業実施の経緯】

平成 30 年 8 月	平成 30 年度モデル事業開始
令和元年 6～8 月	平成 30 年度モデル追加公募・令和元年度モデル公募実施
令和元年 10 月	第 9 回選択的介護モデル事業に関する有識者会議を開催 【内容】平成 30 年度モデルの進捗状況について 令和元年度モデルの公募結果及び実施内容（案）について

2. 平成 30 年度モデルの進捗状況について

(1) モデル事業の概要

指定訪問介護と保険外サービスの組み合わせにより以下の3つのサービス区分で実施

1.居宅内のサービス	訪問介護と居宅内での生活援助を中心とした保険外サービスを組み合わせて、利用者の日常生活を支援するサービス
2.居宅外のサービス	訪問介護と外出支援の保険外サービスを組み合わせて、利用者の意向に合わせた外出を支援するサービス
3.見守り等のサービス	居室に設置したカメラやセンサーで 24 時間見守りを行い、利用者との協議により定めた時間に、訪問介護員等がカメラを通じた声掛けや電話による連絡等を行うサービス

(2) 利用者数の推移（延べ契約件数）

	平成 31 年度								令和元年度				
	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
利用者数	1	6	8	11	11	16	18	19	21	23	24	24	27

・サービス区分ごとの内訳は、居宅内のサービス 19 件、居宅外のサービス 6 件、見守り等のサービス 7 件となっている（令和元年 8 月末現在）。※同一の利用者が複数のサービス区分を利用しているケースがあるため、各サービス区分の合計が上表の契約件数と一致しない。

(3) モデル事業者の追加公募について

公募受付期間：令和元年 6 月 25 日から 8 月 2 日まで

選定事業者数：1 者（応募事業者数 1 者）

選定事業者名：S O M P O ケア株式会社

そ の 他：上記事業者以外に、既存の選択的介護サービス提供事業者において、新たにサービス提供事業所の追加（アースサポート豊島南長崎）の申し出あり

3. 令和元年度モデルの公募結果及び実施内容（案）について

(1) モデル事業の公募・選定結果について

公募受付期間：令和元年7月12日から8月2日まで

応募件数：4件（3グループ）※応募は全件グループでの提案

公募テーマ	提供サービス概要（想定案）	選定結果
1. デイサービスの機能を活用した外出支援	デイサービスの機能（人的・物的資源）を活用し、利用者ニーズが高く、利用者の自立支援・重度化防止につながる外出支援を行う。事務局との協議を通じて実施可能な内容を明確にし、多様な外出支援を実施する。	0件
2. デイサービスの場を活用した健康・療養支援	デイサービスの場（事業所のスペース）を活用して、デイサービスでの機能訓練等と合わせて、薬剤師による個別のお薬相談等のサービスを保険外サービスとして提供する。	1件 (1グループ)
3. IoT等を活用した在宅高齢者の支援	IoT機器等を活用して、利用者の生活リズムを把握し、家族や関係する多職種での情報共有を行い、適切な生活リズムの維持・回復支援、適切なサポート体制の実現を図る。	3件 (2グループ)

(2) 提案内容

公募テーマ	提案者の構成		提案サービス内容
2. デイサービスの場を活用した健康・療養支援	2-1	【代表事業者・実施事業者】 株式会社まんぞく介護 【共同参加事業者】 有限会社ヒルマ薬局	薬剤師、管理栄養士等が通所介護事業所を訪問し、 ①お薬相談、②薬の受け渡し、③血流測定・健康相談、④栄養相談・栄養指導のサービスを提供する。
3. IoT等を活用した在宅高齢者の支援	3-1	【代表事業者・実施事業者】 株式会社まんぞく介護 【共同参加事業者】 株式会社アイオーティー	居宅介護支援の利用者宅に ICT 機器を設置、生活リズムのモニタリング・見守り等を実施し、生活リズムを整える支援を行う。ケアマネジャーによるモニタリングの強化により、予兆の検知、早期対応、プランの見直し等に活用する。
	3-2		通所介護利用者宅に ICT 機器を設置、生活リズムのモニタリング・見守り等を実施する。集積するデータを活用し、生活リズムを整える助言等の実施、個人の状態に応じた機能訓練の提供等を行う。サービス提供時間外の状況の確認、住環境のセンシング等によるデイサービス来所時の対応力の向上等も見込む。
	3-3	【代表事業者】 東京電力パワーグリッド株式会社 【実施事業者】 株式会社ダイシン 東電パートナーズ株式会社 【共同参加事業者】 株式会社ウェルモ 株式会社エナジーゲートウェイ	居宅介護支援の利用者宅に ICT 機器を設置して生活状況の可視化を行い、家族向けのレポートを提供するとともに、生活リズムの維持・回復に資するサービスを提供する。集積するデータを活用したケアプランの見直し、多職種への情報共有によるケアの質向上も見込む。

(3) 事業の実施内容について

提案された各サービスについて、実施上の課題を踏まえて現行制度内で実施できるものから着手し、実績を踏まえ特区提案等を検討する。